

湘南慶育病院 脳神経センター 脳神経内科

病院について

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスに隣接する「湘南慶育病院」は、藤沢市マスタープラン「健康と文化の森」構想によるまちづくりの中核施設で、2017年11月に開院しました。診療面では、幅広い外来診療科を備え二次救急に対応するほか、入院機能としては一般病棟に加えて回復期・地域包括ケア病棟を設置し、急性期病院からの紹介患者も受け入れています。

脳神経内科の特徴

脳神経内科では脳神経センターを立ち上げ、認知症やパーキンソン、脳卒中、神経難病、筋委筋萎縮症などを集学的に幅広く診療しています。病棟では一般的な入院治療に加え、急性期病院からの患者さんの受け入れ、地域の介護施設やクリニックからの急変時の患者さんの受入れ、介護するご家族のためのレスパイト入院など多角的に対応しています。一般脳神経内科外来の他、専門外来として「物忘れ外来」、「パーキンソン病・神経難病外来」、「脳卒中外来」「頭痛外来」に加え「筋電図検査外来」「脳波検査外来」を開設しています。また、認知症の患者さんやご家族と医療関係者が交流できる認知症カフェの「ウイステリア・カフェ」を設けており、患者さんと家族との交流を図っています。さらに、神経疾患からの社会復帰に向けてニューロリハビリテーションに力を入れています。充実した回復期リハビリテーション病棟を有する当院では、既存のリハビリと新たなリハビリ組み合わせ、障害の回復過程に合わせてシームレスに提供できる体制も整え、また治療過程のデータは収集・解析され、次代を担う研究者育成や、新たな医療機器の開発にも役立っています。また、2022年度から慶應義塾大学神経内科との共同プロジェクト「パーキンソン病のオンラインリハビリテーション」を両院通院中のパーキンソン病患者を対象に実施しており、好評を得ています。

脳神経センタースタッフ

院長・脳神経内科部長 鈴木則宏（神経内科一般・慢性頭痛・脳卒中・パーキンソン病）（総合内科専門医、脳神経内科専門医、頭痛専門医、認知症専門医、ニューロリハビリテーション認定医、米国内科学会専門医 FACP、国際脳卒中学会専門医 FWSO）

副院長・脳神経センター長 寺山靖夫（神経内科一般・脳卒中・慢性頭痛）
（総合内科専門医・脳神経内科専門医、頭痛専門医、認知症専門医）

脳神経内科医員 椎橋 元（神経内科一般・認知症）
（内科認定医・脳神経専門医・認知症専門医）

リハビリテーション科医員 宮崎宏道（リハビリテーション・脳神経外科）
（脳神経外科専門医）

リハビリテーション科医員 藤田聡志（リハビリテーション）
（リハビリテーション専門医）

非常勤医師： 北川泰久（東海大学名誉教授）・徳安大輝（慶應大学神経内科）・柴田 護（東京歯科大学神経内科）・大草翔平（慶應大学神経内科）・南 和志（東京歯科大神経内科）・久保紳一郎（永生病院脳神経内科）

研修教育施設認定

日本神経学会教育施設、日本認知症学会教育施設、日本頭痛学会教育施設